



2月5日、文化会館を会場に平成6年度文化講演会が開催されました。この講演会は、環境・福祉など各分野で活躍する著名人を招き、その知識と経験を学ぶことを目的としているものです。今回は、タレントとしてテレビ講演、「おもしろ天国ニッポン」と題したテーマで、主に日本人とアメリカ人の比較について、わかりやすくユーモラスに、また会場へのクイズを交えるなどして、場内をわかせていました。そして講演の中で、「国際化を目指すとしたら国際化だけにこだわらず、県や市町村などで姉妹都市を結んだり、ホームステイすることなどが大切ですね」と21世紀に向けた国際化についても触れていました。

日本人・アメリカ人の性格をあもしろ比較

▼文化講演会 ▲

3冊から5冊へ

図書の貸し出し冊数 変更のお知らせ

文化会館の図書室にある図書の貸し出し冊数を、4月1日から5冊（現在3冊）まで増やすことになりました。

この1年間で児童書、実用書（法律・料理・医学）、文学書などを大幅に増やし、これからも充実させていくことにしています。みなさんのご利用をお待ちしています。

保護者が主体的に楽しく学ぶ場として

家庭教育学級

(3)

社会教育指導員 伊藤はる

前回、家庭教育学級を主体的に楽しく学ぶ場としていたいと申しましたが、その実現のために実施計画の一例を示します。

対象については、家庭教育学級推進委員会でその範囲をきめます。例えば、平成七年度は各小学校一・二年生の保護者とする。というようにし、これらの中から希望者を募り、参加者を決めます。又、一応全員を対象とし、内容別に選択して参加するようにしても差しつかえないと思います。この参加者を学級生と呼びます。学級生の中から地区代表の運営委員を選出。互選で決められた委員長（学級長）を中心に実施計画を立て、まとめて“計画表”を作成します。常に学級生の

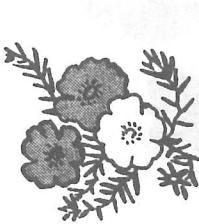
平成七年四月からは、月二回土曜日が休みになりますので、この時を活用し、親子でチャレンジする学習内容を取り入れることをお勧めしたいものです。みんなの知恵を結集し、実践しながら改善していく人が喜んで楽しく学習し、その成果として家庭教育力の向上をもたらす家庭教育学級の実現を念じて掲筆します。

か母に内緒と我に耳うつ
厨辺にでんと陣取る大かぶら汁に
煮付けになせと母言ふ
掛川 友代
宇井 ちい
佐瀬 初音
齋藤 要

印旛沼の水面を染めて静かなる時
をきざみて夕日は沈む
篠壳りはだし易きと思ひしか帰
りもせずに熱弁ふるふ
佐瀬 初音
桑の枝に刺されし鳴のはやにえを
そのまま切らず残し置きたり
鈴木 やす
音たてて寒の朝を雨降れり震災の
地にも此の雨降るや
中越美代子
向後 房
土屋 栗水
背を丸め懐炉の点火に手間どりし
父を思へりけふの冷え込み
斎藤 秀男
せめて後三月描く日がほしと言ひ
未完の作を残し逝きたり
選者 齋藤つね子

計画表記載例

平成7年度		横芝町家庭教育学級		-計画例-	
		学級主事	社教主事		
		学級長	○○○○		
1.	対象	○○学年			
2.	参加者	○○名			
3.	実施場所	文化会館、上堺・横芝・大綱各小学校			
4.	学習時間	○○時間			
5.	講師、助言者	○○名			
6.	6年間テーマ	健康で心豊かな子どもの育成をめざして			
回数	月・日	学習課題と内容	時間	学習方法	講師・助言者
1	5・○	開講式・家庭教育の役割	3.0	講話 話しあい	落語家
2	6・○	・図書館の活用	4.0	見学	図書館長
3	7・○	・学校教育と家庭	2.0	講話 討議	各学校長
4	8・○	親子でチャレンジ	3.0	実習	文化会館職員 社教主事
5	10・○	最近の問題と対策	2.5	討議	○○○○
6	11・○	親子でチャレンジ	2.0	実習	文化会館職員 社教主事
7	12・○	家庭学習について	2.0	○○○○	各学校で
8	H 8 2・○	(家庭教育講演会) 閉講式	2.5	講演 感想発表	



元朝の淑氣満ちたる門川の橋の真中に暫し佇ちたり
背を丸め懐炉の点火に手間どりし父を思へりけふの冷え込み
斎藤 秀男
せめて後三月描く日がほしと言ひ未完の作を残し逝きたり
選者 齋藤つね子